

### 9月議会 総括質問 (加藤 一 議員)

## 周辺部の課題に有効な対策打たなかったのでは 市長「市営バス導入など地域交通の見直し行った」

鶴岡市議会9月定例会が8月29日開会されました。総括質問で日本共産党の加藤一議員は、①新市建設の総括、②国保税の減税、③県地域医療構想と荘内病院、地域における医療再編、④文化会館建設問題について質しました。

### 合併でバランスのとれた新市建設されたか



問 平成大合併で新鶴岡市が誕生してこの9月で満12年になる。

旧市町村に配慮し、バランスのとれた新市建設がされたのか検証する必要がある。

合併時の新市建設計画主要事業における特定事業の実施率、個別事業の地域別実施率はどうか。

周辺部における人口急減、過疎化の進行と交通ネットワーク弱体化による住みづらさ、有害鳥獣の増加など、有効な対策が打たれてこなかったのでは。

### 国保1人2万円の減税実行すべき

問 国保は28年度、単年度収支は過去最大の6億6671万円の黒字を計上した。

国保加入者は、低所得者の占める割合が大

市長 社会状況の変化により当初計画にない事業、例えば藤島地区活動センターの改修や羽黒庁舎の改築、丸岡城址のガイダンス設備などを実施してきた。

それらを除き単純な進捗状況は、全市に關わる特定事業22事業は完了が13、実施中1で、着手率は63・6%。個別事業は、鶴岡90・9%、藤島66・7%、羽黒70・6%、櫛引51・2%、朝日94・7%、温海89・4%。

建設計画は市の総合計画に引継ぎ、優先順位で実施している。

地域課題では市営バスやデマンドタクシーを導入し、地域公共交通の見直しを行っている。

### 国保加入者は、低所得者の占める割合が大

大きく、高すぎる国保税の負担で、くらしも営業も苦境にある現実を直視すべきだ。

国保会計の財源留保額約10億円の中から1

### 地域医療構想で急性期病床半減

問 平成28年9月の山形県地域医療構想では、庄内地域は稼働病床2579床から2025年には必要病床数が2071床へ2割も減る。うち高度急性期と急性期病床を1645床から822床へ半減になる。

「地域医療構想」は、入院ベッドを機能ごとに区分し(機能分化)、救急や集中治療を担う「高度急性期」「急性期」などのベッドを減らす一方、軽症とされる患者を「在宅化」していくことを目指すもの。

庄内病院にとっても病床削減は経営的にも大きなマイナスであり、地域医療構想がこの地域の医療提供体制に与える影響を明らかにし、各医療機関と市民とともに庄内南部地

必要ではないか。

市長 県と市町村との共同運営に伴い、市町村の負担する国保納付金の動向を見極め、国保の安定的運営を図る必要がある、減税実施という状況にはない。

県から示される標準保険料率に基づく保険税の収納率の低下や、医療費の増加による納付金の急増などの事態に備え、保険給付基金に替えて、今後は国保納付金に対応した基金が必要になる。

置されている。

各病院は将来推計をもとに病床の削減や機能の見直しを「自らが行う」とされており、病院間の機能分担と連携がこれまで以上に必要になってくる。

庄内病院は「地域医療支援病院」として、地区医師会や医療機関と連携し、地域完結型医療の確立と充実を目指す。

平成26年に鶴岡地区病院協議会を設立し、市と三川町の8つの病院が情報共有と意見交換を行っている。

また庄内病院地域医療連携推進協議会を年4回開催している。

平成30年度には診療報酬と介護報酬の同時改定、第7次山形県保険医療計画の策定が予定され、その動向を見据えながら病床機能の見直しについて慎重に進めていきたい。

### 文化会館、異例づくめで異常

問 日本共産党市議団の市民アンケートでは、文化会館については、「市の文化会館の建設に市民の声が生かされなかったのは残念」などの記述が目立った。

市が建設した公共施設で、これほど批判に晒されたものはない。

建設費用の倍加、建築場所の問題と駐車場の不足、複雑な屋根の設計、座席数減少への疑

問、外壁の凹凸など、公共施設建設をめぐる問題としては異例づくめで異常ではないか。本来喜ぶべき竣工を心から喜ばない市民が大勢いるということに市長はどう答えるか。

また、今指摘されている外壁の凹凸・ゆがみに対する市民の疑問や指摘にどう答えるのか。(2面につづく)

# 文化会館屋根・壁のゆがみ、市民に説明を

## 市民から「文化会館の杜撰な工事」について陳情提出

市民3名から市議会議員長宛に提出された「鶴岡市文化会館の外壁、屋根等の杜撰な工事についての陳情」について、鶴岡市議会運営委員会は、8月24日と28日に取り扱いを協議しました。



文化会館の屋根・外壁のゆがみ

24日の会議では、各会派に持ち帰り検討することとし、25日の会派代表者会議を経て、28日に渡会建設部長から説明を受けました。

渡会部長は、「壁や屋根のゆがみは素材と施工方法によってゆがみが出るよう施工されているもので、施工ミスでも杜撰な工事でもない」と説明しました。日本共産党の加藤太一市議は「『杜撰な工事』かどうか現場を検証しなければわからないので現場を見るべき」と主張しました。

引き渡し延期については賛否が分かれ、結論は出ませんでした。日本共産党市議団は28日午後、現場を視察。その後、小野寺議会議長から現場視察を行いたいとの連絡があり、29日の本会議終了後、議会議長から現場のメンバーが現場を視察しました。

陳情に対する議運委の対応はまだ決まっていません。現場を視察した加藤太一市議は「施工ミスや杜撰な工事が行われたというのではない」と話しています。

（1面のつづき）市長 市民の中には様々な声があることは承知しており、これらは市文化会館に対する期待の大きさ、関心の高さから寄せられるものと考えている。

丁寧な説明と、まずは内覧会で見ていただくこと、すぐれた音響性能と、観客席との一

と思うが、屋根の極端なゆがみは見た目にも満足のゆくものではない。設計の段階から予測できなかったのか疑問が残る。市民に理解してもらうには詳しい経過と施工内容を丁寧に説明する必要があります」と話しています。

体感による感動を共有できるホールだ。外壁のゆがみは、高耐食性メッキ鋼板を材料とした長尺を使用したことによる特性で、局面の屋根にも対応できるものとして採用した。

ゆがみは伸縮性や防水性を保つもので欠陥ではない。ゆがみは伸縮性や防水性を保つもので欠陥ではない。ゆがみは伸縮性や防水性を保つもので欠陥ではない。

# 住民過半数署名に背を向ける市に抗議

## 共産党市議団がごみ最終処分場問題で要請

日本共産党市議団は8月22日、ごみ最終処分場問題で「候補地撤回と、他の候補地も含めて再考を求める」として署名が上郷地区有権者の過半数に達している状況を受けて、住民の声に理解を示さない市当局の姿勢に強く抗議し、要請を行いました。

その中で、大荒の西部養豚場跡地に関して、過去に地元自治会と養豚団地組合と間で

交わされ、当時の市長、農協組合長も立会人となっている「覚書」の取り扱いや、大荒自治

会からの「候補地受け入れ困難」との市への回答書が、当局判断で受理されず返送された問題について、当局の考えを質しました。佐藤市民部長は「要請内容は市長に伝え

る。覚書は、養豚組合自体が解散しているのに効力は無いのではないかと。地元自治会からの回答書については、内容について確認するためにお返しいした。」と述べました。市議団は「署名には地元住民の声が示されている」「地元自治会としっかり話し合いを行うべきだった」「こうした状況になっ

加藤太一市議団長が、対応した佐藤市民部長に「①地元住民、流域の農家・住民との合意形成が図られないままでの推進は中止をすること。②この問題を各地域の住民代表らも加えた中で検討を行い、合意形成の図れる候補地を速やかに選定すること」とした要請書を手渡ししました。

水道課入札結果（ ）内は予定価格  
8月28日入札分  
・藤島、三川地域遠方監視システム中央監視制御装置更新工事（のぞみ町地内他）（随意契約1業者）  
山形富士電機(株) 84,500,000円 (85,000,000円) 工期～30/3/23 (落札率99.41%)

下水道課入札結果（ ）内は予定価格  
8月25日入札分  
・市公共下水道事業 汚水210089～NC29号新設工事（下川地内）（入札11業者うち1業者辞退）  
(株)佐藤組 141,000,000円 (144,272,000円) 工期～30/3/26 (落札率97.73%)

建設課入札結果（ ）内は予定価格  
8月28日入札分  
・旧セントルまちづくりセンター施設整備工事 不調  
8月24日入札分  
・小真木原総合体育館エレベーター改修工事（入札6業者うち5業者辞退）  
(株)日立ビルシステム 19,188,000円 (21,320,000円) 工期～30/3/23 (落札率90.00%)  
・市本庁舎高圧変圧器更新工事（入札4業者）  
(有)トラスト電建 2,300,000円 (2,540,000円) 工期～11/30 (落札率90.55%)  
・市立鶴岡第三中学校改築家具整備工事（入札17業者うち1業者辞退）  
(株)山口工務店 125,000,000円 (126,900,000円) 工期～30/3/16 (落札率98.50%)  
8月3日入札保留分  
・田川コミュニティセンター機械設備改修工事（入札5業者うち1業者辞退）  
三和メイテック(株) 30,000,000円 (37,710,000円) 工期～30/2/28 (落札率79.55%)

温海庁舎産業建設課入札結果（ ）内は予定価格  
8月24日入札分  
・西田元線道路改良工事 中止

土木課入札結果（ ）内は予定価格  
8月24日入札分  
・山五十川地内耐震性貯水槽新設工事（入札3業者）  
(株)土岐工務店 7,200,000円 (7,431,000円) 工期～11/30 (落札率96.89%)  
・熊出地内耐震性貯水槽新設工事（入札3業者）  
齋藤建設(株) 7,400,000円 (7,538,000円) 工期～11/30 (落札率98.17%)  
・西片屋地内耐震性貯水槽新設工事（入札3業者）  
(株)田川 6,450,000円 (6,589,000円) 工期～11/30 (落札率97.89%)  
・鶴岡公園新形町線道路改良工事（若葉町地内）（入札3業者）  
(株)山口工務店 7,550,000円 (7,805,000円) 工期～12/18 (落札率96.73%)  
・柳田四小前線道路改良工事（陽光町地内(四小跡地)）（入札6業者うち1業者辞退）  
小野寺建設(株) 11,800,000円 (12,071,000円) 工期～30/1/15 (落札率97.75%)